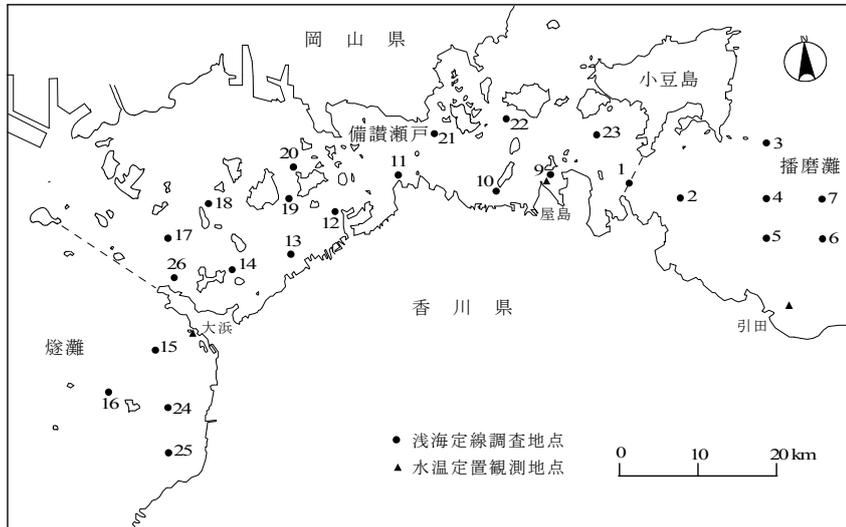


香川県漁海況速報 平成 21 年 7 月 (H21-4 号)

香川県水産試験場

1. 海況

1) 観測地点



2) 浅海定線調査

(1) 調査日

平成 21 年 7 月 2 日 (播磨灘), 1 日 (備讃瀬戸, 燧灘)

(2) 水質概況

平年と比較すると、水温及び塩分は「平年並みから著しく高め」、透明度は「平年並みからかなり高め」、溶存酸素は「かなり低めからかなり高め」であった。

7 月

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透 明 度 (m)	溶 存 酸 素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	22.5	21.5	18.4	32.7	32.8	32.8	9.0	4.72	4.32
	平年値	22.1	20.6	18.8	31.6	31.8	32.1	7.7	5.26	3.73
	平年偏差	0.3	0.9	-0.4	1.1	1.0	0.7	1.3	-0.54	0.58
	標準偏差(σ)	1.1	0.7	0.6	0.5	0.4	0.4	2.0	0.40	0.40
	状 況	平年並み	かなり高め	平年並み	著しく高め	著しく高め	かなり高め	やや高め	かなり低め	かなり高め
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	22.7	22.4	22.1	33.1	33.2	33.2	5.5	4.50	4.38
	平年値	21.3	20.8	20.6	31.5	31.8	31.9	4.2	4.71	4.46
	平年偏差	1.4	1.6	1.5	1.6	1.4	1.3	1.2	-0.21	-0.08
	標準偏差(σ)	0.8	0.7	0.7	0.9	0.6	0.6	0.8	0.25	0.26
	状 況	かなり高め	著しく高め	著しく高め	かなり高め	著しく高め	著しく高め	かなり高め	やや低め	平年並み
燧 灘	4地点平均値	25.2	21.4	19.1	32.9	33.4	33.5	9.1	5.19	4.22
	平年値	23.9	20.2	18.2	31.4	32.4	32.7	9.1	5.28	3.73
	平年偏差	1.3	1.2	0.9	1.5	1.0	0.8	0.0	-0.09	0.49
	標準偏差(σ)	1.4	0.7	0.7	1.0	0.5	0.6	3.3	0.42	0.47
	状 況	やや高め	かなり高め	やや高め	かなり高め	かなり高め	かなり高め	平年並み	平年並み	やや高め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温、塩分及び透明度：昭和 48 年 (1973) 1 月～平成 13 年 (2002) 12 月

溶 存 酸 素：昭和 48 年 (1973) 2 月～平成 13 年 (2002) 12 月

水温は、毎月 1 日の値に補正。

平年並み $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$ (σ : 標準偏差)

やや高め (やや低め) $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め) $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め) $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

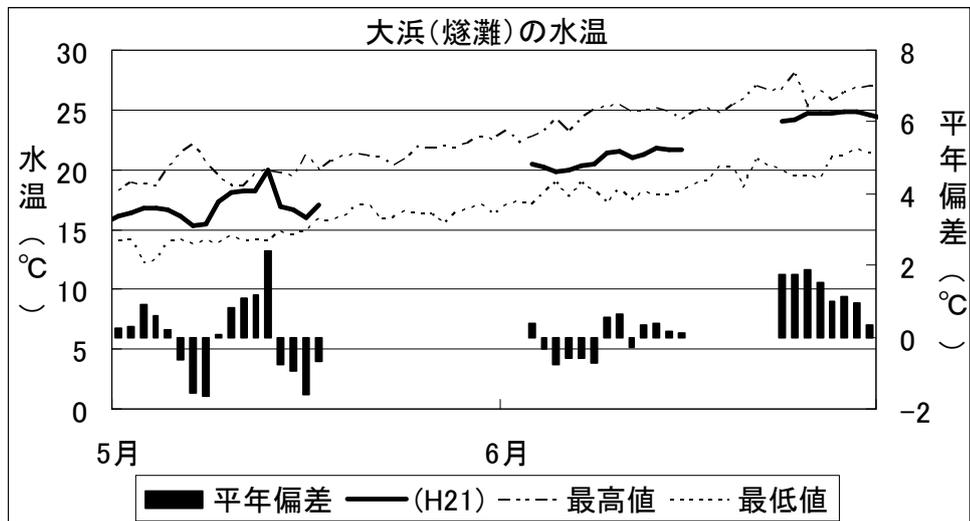
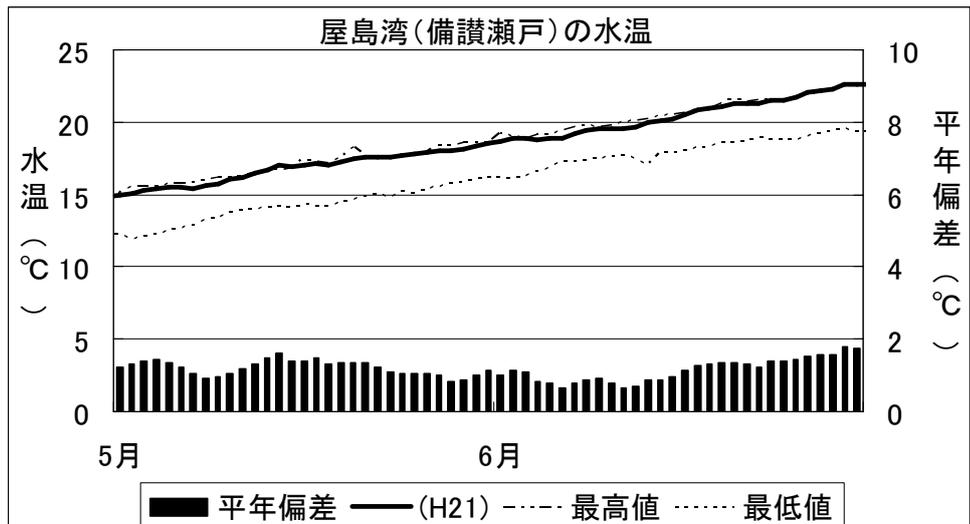
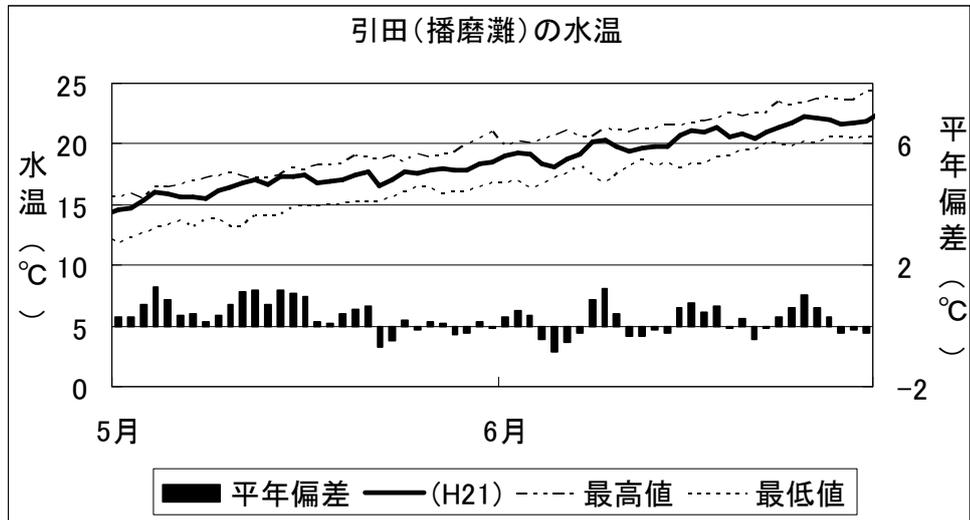
3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 5月中旬までやや高めで推移していたが、その後、概ね平年並みで推移している。

備讃瀬戸 (屋島) : 4月以降著しく高めで推移している。

燧灘 (大浜) : 5月以降、概ね平年並みからやや高めで推移している。

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 20 (2008) 年
屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 20 (2008) 年



4) 赤潮 (6月17日～7月17日)

播磨灘：発生なし。

備讃瀬戸：7月4日に庵治沖において、メソディニウムによる赤潮が確認された。

燧灘：発生なし。

5) 卵稚仔

調査日：平成21年7月2日 (播磨灘)，1日 (備讃瀬戸，燧灘)

出現量

		カタクチイワシ		マイワシ		サワラ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	6.4	1.8	0.0	0.0	0.1	0.0	4.6	3.4
	平年値	41.5	5.5	0.0	0.0				
	対平年 (%)	15	32	-	-				
備讃瀬戸	平均値	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.1	1.8
	平年値	2.8	0.6	0.0	0.0				
	対平年 (%)	9	0	-	-				
燧灘	平均値	38.7	18.4	0.0	0.0	0.1	0.0	34.0	14.1
	平年値	14.7	2.6	0.0	0.0				
	対平年 (%)	263	703	-	-				
総平均	平均値	10.9	4.8	0.0	0.0	0.1	0.0	12.7	5.1
	平年値	23.2	4.7	0.0	0.0				
	対平年 (%)	47	101	-	-				

－：平年値が0の場合を示す。(サワラ及びその他の魚類については平年値がない。)

平年値の算出期間

カタクチイワシ：昭和55年(1980)～平成20年(2008)年度

マイワシ：平成5年(1993)～平成20年(2008)年度

各調査点でのカタクチイワシ卵の出現状況は、次のとおりである。



2. 漁況

6月からの漁況は次のとおりである

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網では、マルアジ、小エビ類、ハモ、手長ダコが漁獲されているが、全般的に低調である。</p> <p>大型定置網では主にサゴシ、マルアジ、スルメイカ、タチウオ、マサバ、カタクチイワシが漁獲されているが、タチウオ、スルメイカは、例年に比べて少ない。</p> <p>東讃のしらす船びき網の6月の漁獲量は、約617トン（前年同期比約410%）で、好漁が続いている。</p> <p>さわら流しさし網の6月までの漁獲量は約48トン（前年同期比約130%）であった。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網では主にウシノシタ類、マダイ、メイタガレイ、マアナゴ、小エビ類、コウイカ類、マダコが漁獲されている。</p> <p>さわら流しさし網の6月までの漁獲量は約28トン（前年同期比約93%）であった。</p> <p>まながつお流しさし網は、不漁のため出漁を控えている人が多い。</p>
燧 灘	<p>底びき網では主に小エビ類、アカカマス、シロギス、コチ類、メイタガレイが漁獲されている。</p> <p>いわし機船船びき網は、6月22日からチリメン漁が開始され、現在も操業が続いている。大羽漁が好漁であったため、6月の漁獲量は4,300トン（前年同期比約300%）であった。</p> <p>さわら流しさし網の6月までの漁獲量は約49トン（前年同期比約120%）であった。</p>